

「オセアニア・チャンピオン！」

今年 2007 年の目標の一つとして、「Nike Cup に出場する」ということを WYNRS として、またコーチとして個人的にも掲げていたのですが、現実のものとなりました！

今月 13 日からオーストラリアのメルボルンでオセアニアの最終予選がありました。何とか勝ち上がり、決勝でシドニーのチームを破り、見事オセアニア・チャンピオンになりました。そして、7 月に行われる世界大会の出場を果たしました。

通称「Nike Cup」とは「Manchester United Premier Cup」といい U-15 の大会なのですが、今では U-15 の大会として、クラブレベルの大会としては世界最大規模の大会とされています。

日本でも JFA の公式大会になり、各 J リーグクラブのジュニアユースも含め全国で 1000 チーム以上が予選に参加する大規模な大会になっています。

私たち WYNRS はクラブチームではないので、WYNRS の冠では大会に参加できません。そこで Central United というオークランドにあるクラブの名前で登録だけ行い、2 月から始まった地区予選からニュージーランドの全国大会決勝戦と勝ち進んできました。

一試合勝つごとにチームはどんどんたくましくなっていき、オセアニア最終予選の決勝では 5 - 1 とシドニーのチャンピオンチームに圧勝しました。

今回の大会に参加した WYNRS の選手たちは、ほとんどの子達が彼らが 7 ~ 8 歳の頃から WYNRS で育ってきた選手で、僕自身もかれこれ 5 年にわたって指導をしてきた子供たちです。

その間、海外遠征もヨーロッパに 1 回、日本に 2 回行ってきます。また、昨年も WYNRS はニュージーランド予選を勝ってオセアニア最終予選に行っていますが、そのときひとつ年下で参加していたメンバーの大半が今年を中心メンバーになっています。つまり満を持してというか、なるべくしてオセアニアの頂点に立ったように思います。

世界大会の出場件を得たということはもちろん素晴らしいことなのですが、もっと誇りに思うことがあります。それは、WYNRS のやってきたこと、またルーファー氏の哲学がオセアニアの中でひとつの結果を出したということです。今回、私たちが勝ち進む上で様々な関係者から、非常に素晴らしいサッカーをするし、個人の技術が今までのニュージーランドの選手とは違うという評価をされてきました。とくに、オーストラリアのサッカー関係者から驚かれたのです。

WYNRS は約 10 年前にルーファー氏がヨーロッパから帰ってきて、ニュージーランドの育成の現状を見て、何かを変えなければと始めたプログラムです。彼のユニークなアイデアは、ニュージーランド国内では時として、こっけいな目で見られることもあります。

たとえば、WYNRS では個人の技術習得に重点をおくため、12 歳になるまで基本的には 11 人制のサッカーは行いません。今回チャンピオンになった選手たちも 3 年前までは、11 人制を経験したことがない子供たちでした。

私自身ルーファー氏のプログラムでコーチとして学んできて、彼の哲学がひとつの形になるのを目の当たりにする事が出来、またひとつ非常に貴重な経験をしたなと思っています。

そして、7月のマレーシアで行われる世界大会を非常に楽しみにしています。イングランドからはマンチェスターUはもちろんのこと、エバードンが予選を勝ったようです。イタリアからはASローマ、ドイツからはレバークーゼンなど勝ち上がったようですし、日本からはどのチームが勝ちあがってくるのかも個人的には楽しみにしています。ちなみに、昨年日本から参加した東京ヴェルディは、準決勝まで進んでいます。こんどは、WYNRSの名を世界的に広めるチャンスだと思っています。

最後に余談ですが、オセアニア最終予選の決勝で戦ったシドニーのチームのコーチが、実はもとサンフレッチェと一緒にプレーをしたコリカ氏でした。彼は、現在でもシドニーFCで現役を続けていて、来月にはACLで浦和と対戦するために来日します。彼自身も、今回WYNRSの子供たちのレベルの高さにたいへん驚いていました。

私たちのチームが世界の舞台に立ったときどこまでやれるか、WYNRSの選手とともに私自身のチャレンジは続きます。

